



011-590-1757

011-590-1767



タイピング
ができると
世界が変わる！

めざせ！タイピングマスター！！

幼い頃からインターネットなどのデジタル技術が身近な世代は、スマートフォンやタブレット端末の普及が進んだことによって、パソコン利用の減少や、それに伴うタイピングスキルの低下が課題とされています。また、フリック入力は得意ですが、タイピング入力が苦手であるという傾向もあります。幼い頃から、キーボードに触れる機会を増やすことが、将来の社会生活で役に立ちます。ローマ字は、分からなくても、キーボード上のアルファベットのキーの位置を覚えることが第一歩です。また、「カナ入力」もできます。ゲーム感覚で、取組めるタイピングソフトが数多くあります。

「タイピング練習」は療育にも有効です。今回は、「タイピング練習と療育の関係」について、ご紹介します。



タイピングがもたらす3つの療育的効果



1. 『書く・話す』の代替手段となる

音声での会話や、文字を書くことに困難を抱えるお子さまにとって、PCとタイピングは有効なコミュニケーションの代替手段です。

また、不安や緊張から特定の状況で話すことが難しくなるお子さまが、チャットなどを通じた文字でのコミュニケーションであれば、安心して自分の気持ちを伝えられるケースもあります。

2. 将来の就労に向けたスキル習得

タイピングは、将来の自立に向けた実践的なスキルです。「将来のためにタッチタイピングができるようになりたい」と、明確な目標を持って練習に励むお子さまもいます。

「タイピングが得意である」という事実は、お子さまの自信や自己肯定感を育む成功体験の一つとなります。

3. 身体機能の向上をサポートする

タイピング練習は、身体機能のトレーニングとしての側面も持っています。「身体の使い方のぎこちなさ」に対して、アプローチすることが可能です。

☆微細運動の練習

指を一本ずつ独立させて打つ練習は、指先の細やかな動き（微細運動）を養うトレーニングになります。

☆「良い姿勢」を意識するきっかけ

体幹が弱かったり、自分の身体の位置を意識する力が弱かったりすることで、姿勢が崩れやすいお子さまがいます。タイピングの際に「疲れにくい姿勢」を意識することが、結果として体幹や姿勢を維持する力の向上に繋がります。

☆目の使い方（見る力）のトレーニング

手元のキーボードと画面とを交互に見比べる動きは、目の焦点を素早く切り替える「跳躍眼球運動」の練習になります。この力は、学校で板書を写す際などにも必要となる機能です。



「りんくる」が目指している支援



タイピング練習を通して目指しているのは、「タイピングの速度を上げること」自体が目的ではありません。

- ・タイピングというツールを使って、お子さま一人ひとりの「困っていること」を解消する。
- ・「得意」「できる」という成功体験を積み重ね、自信を育む。
- ・PCを媒介として、「他者と繋がれる」「自分を表現できる」というコミュニケーションの機会を提供する。



タイピングソフト「タイピング-Z」



タイピングソフト「寿司打」

タイピングができるとかっこいい！！



お知らせ

月末をめぐりに「連絡帳」を収納するケースを一人ひとりにお渡しします。今後、このケースを利用してプリントなどのやり取りをすることもあります。毎回のご確認をお願いします。